

ホタルと

1 発生の様子を見よう

ホタルは暗くなると飛び出しますが、何時ごろから光り出すか、よ〜く見ていよう。観察のポイントは、ホタルは昼間の間、葉の裏や草の根元などにいますから、明るいうちにねらいをつけておくことです。そして、日が沈む7時すぎからじっと、見ていきましょう。そうすると、ふうっと息をするように、ホタルたちが1びき、2びきと光り出しますよ。でも、けっして大きな声を出さないようにしましょう。ホタルがおどろいてしまいますから。そのまま、ずっと見ていると、光りながら飛ぶようになりますよ。どっちに、飛んで行くかよく見てみましょう。方向が決まっていることがありますよ。そのまま、見ていると、そのうち、だんだんと飛ばなくなってくる時間があります。こうしたホタルたちの様子をよく観察して記録しておきましょう。

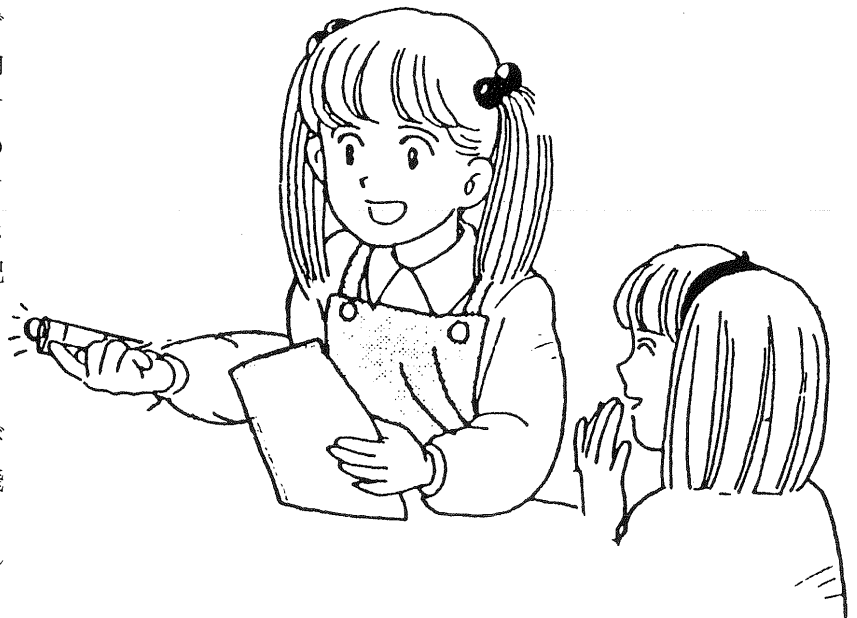
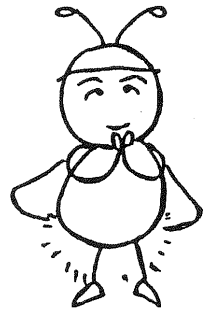
ほ



た



る



2 飛び方を見よう

ある時間になると、元気に飛び回るホタルですが、飛ぶ方向や飛び方にきまりがあるようです。よく観察して、みんなが見たホタルはどうか？

3 光り方を見よう

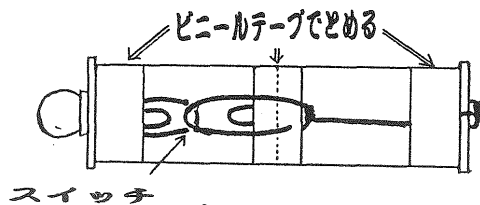
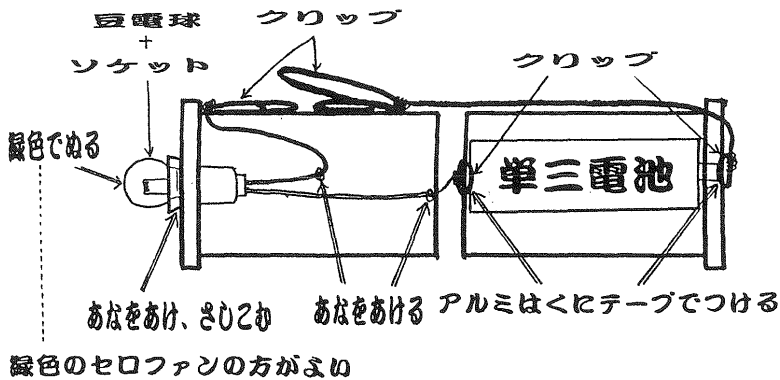
ホタルは光る昆虫のスターですね。そのホタルも種類があつて、光り方がちがっています。ゲンジボタルはだいたい4秒の間に光って消えますので、みんなにもわかりやすいと思います。でも、場所によって少しずつ違いますから、ストップウォッチで計って比べてみましょう。

遊ぼう!



4 ホタルをよんでみよう

ホタルは人がすごく好きな昆虫です。絵にあるようなミニライトを作って、ホタルと話しましょう。ホタルの光り方に合わせて、やさしくよびましょう。きっと、みんなのところにきてくれると思いますよ。でも、遊びに来てくれたホタルには、あくまでもやさしく、そして、遠くまでよばないようにしましょう。



完成図

ホタルをよぶ
ミニライト

ミニライトの作り方

さあ、ホタルをよぶ「ミニライト」を作りましょう。作り方はかんたん！フィルムケースに豆電球を、もう一つのフィルムケースに電池を入れて、線をつないで、クリップでスイッチを作れば、できあがりです。あとは、ケースに絵をかいて、楽しいものにしましょう！（線はしっかりつなごう）